

# 読書のススメ カミュ「ペスト」

山崎 崇

## 感染症を題材にした小説「ペスト」

二〇二〇年から続く新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、一九四七年にフランス人作家アルベール・カミュによって書かれた長編小説「ペスト」が世界中で読み直されている。日本では一九五〇年に翻訳された原典の文庫版が大増刷された。

この物語は、一九四〇年代のフランス領オラン市に感染症「ペスト」が発生したところから始まる。感染拡大により病床や埋葬地は不足し、市境は封鎖され、自分たちではコントロールできない不条理の中の生活を強いられる人々の姿を描いている。

## コロナ禍で読み直される理由

細部は異なるが、パンデミックやロックダウン、買い占め騒動など社会や人々の動きや混乱がリアルに描かれ、現代との共通点を多く感じる。また、数多くの登場人物がそれぞれ異なる価値観や考え方で、不条理を乗り越えようと抗っている。読み手によって共感する人物は異なると思うが、きっと誰かに勇気づけられる。

緊急事態宣言や自粛生活など自分ではコントロールできない不条理な状況を理解する糸口を求めめるために読み直されているように思う。

## おススメの読書法

昨年、約七〇年ぶりに新訳された原典が二冊発刊され、いずれも読みやすい工夫がされている。とは言うものの私のように長編小説の読書に慣れていない方には、原典を読むことをゴールとする方法を提案する。

解説本や解説動画、漫画化された作品等の数も増えている。それらを入力にして、最終的に原典を手に取り、ノベル賞作家が五年の歳月をかけて完成させた物語の面白さ、珠玉の言葉想像力をぜひ味わっていただきたい。



## START

活字は苦手、漫画なら読めるかも

Yes



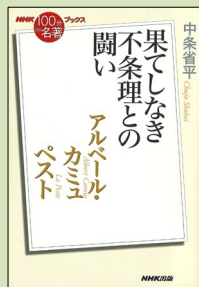
おすすめ漫画

●リウを待ちながら (全3巻)  
朱戸アオ 著  
2017~2018年  
講談社イブニング KC

他にも  
○まんがでわかるカミュ「ペスト」  
(小川仁志 監修、2020年、宝島社)  
○ペスト (車戸亮太 漫画、2020~2021年、全4巻 新潮社 BUNCH COMICS)

長編小説、フランス文学ってなんだか難しそう

Yes



おすすめ解説本

●アルベール・カミュ・ペスト  
～はてしなき不条理との闘い～  
中条省平 著  
2020年9月  
NHK 100分de名著ブックス

〔解説動画〕  
○100分de名著ペスト全4回 (NHK オンデマンド)  
○今読むべき小説【ペスト①②】 (中田敦彦のYouTube大学)

Next

格式の高さよりも読みやすさが大事

Yes



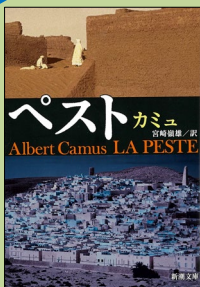
おすすめ原典1

●ペスト  
アルベール・カミュ 著  
中条省平 訳  
2021年9月  
光文社古典新訳文庫

☆主要登場人物のしおり付き。多数の登場人物を把握できて非常に便利  
☆読みやすい翻訳のため、初めての原典として特におすすめ

Next

No



おすすめ原典2

●ペスト  
アルベール・カミュ 著  
宮崎嶺雄 訳  
1969年 (1950年)  
新潮文庫  
☆累計160万部発行

○ペスト  
アルベール・カミュ 著  
三野博司 訳  
2021年4月  
岩波文庫  
☆舞台であるオラン市の地図付き

GOAL 2

GOAL 1